

issue+design世界に向けて日本のソーシャルデザインを発信 『ミラノサローネ2015』に初出展

「できますゼッケン」「ココクル? ZOO」「WRITE MORE」の3プロダクトを展示

「社会の課題に、市民の創造力を。」をテーマに、地域が抱える課題をデザインの持つ美と共感の力で解決するissue+designは、株式会社博報堂と共に4月13日～19日にイタリア・ミラノ市で開催される世界最大規模のデザインの祭典「ミラノサローネ」の「TOKYO DESIGNERS WEEK in MILANO 2015」に出展し、日本のソーシャルデザインを、世界に向けて発信します。

本展示では、防災と教育に関わる、以下の3つのソーシャルデザインプロジェクトを紹介します。

【できますゼッケン】 (Ability Bib)

地震や津波などで被害のある地域に赴くボランティアの力を最大限活用し、被災者同士の助け合い行動を生むために開発された、「自分ができること、の宣言」を促す震災復興支援ツール。

2010年度に実施した「避難所+design」を通して、東日本大震災支援ツールとして開発され、気仙沼市、釜石市、石巻市など、数多くの被災地で活用いただきました。



【ココクル? Zoo】 (Koko Kuru? Zoo)

スマートフォンをかざすと、動物が避難すべき経路を示してくれるARアプリ。

津波の高さなど災害の規模が動物の種類・大きさと比例するようになっており、どのくらいの規模の災害がその場所に差し迫っているか、どちらの方向に逃げるべきかを動物が誘導してくれるようになっています。



【WRITE MORE】

新しい体験を創造する「モノづくり」の視点から開発された、子どもの学習の作業効率や、継続意欲を高める新しい体験と価値を提供するプロダクトです。

■お問い合わせ先

issue+designミラノサローネ担当：筧 川合

TEL：03-6441-7752 E-Mail：info@issueplusdesign.jp HP：<http://issueplusdesign.jp>

■ 参考資料

【ミラノサローネとは】

イタリア・ミラノで毎年4月に行なわれる世界最大級のデザイン見本市、祭典です。世界中から建築家、デザイナー、メディア関係者等が集合し、デザイン界の一年のトレンドに大きな影響を与えています。期間中、ミラノ市内、郊外とで、様々な催事が行われ、街中でデザイン、テクノロジー等の最先端企業やクリエイターが集結します。

【TOKYO DESIGNERS WEEK in MILANO 2015とは】

デザインアソシエーションNPOとTOKYO DESIGN WEEK(株)が主催する、Design、Art、Fashion、Music、Technology、Food まで、東京の最先端クリエイティブを展示します。今年のメインテーマはTOKYO「江戸×原宿」。Kawaii からCool、江戸から東京までクリエイティブとテクノロジーと様々な要素が融合し、混沌と秩序が入り乱れる“いま”の東京を表現します。

* TOKYO IMAGINE in Milano 開催概要

催事名：ミラノデザインウィーク

日程：2015年4月14日（火）～4月19日（日）

エリア：イタリア ミラノ トルトーナ地区ほか Padiglione Visconti (Via Tortona 58)

イベント名称：ABLE & PARTNERS TOKYO DESIGN WEEK in MILANO 2015

テーマ：TOKYO「江戸×原宿」

主催：デザインアソシエーションNPO、TOKYO DESIGN WEEK(株)